

# 事業報告書

2025年度

自 2025年 1月 1日

至 2025年12月31日

公益財団法人 岩谷直治記念財団



## 目 次

事業概況と実績	2
1. エネルギー及び環境に関する独創的で優れた研究に 対する助成	3
2. エネルギー及び環境に関する優れた技術開発で顕著な 産業上の実績が認められる業績の表彰	5
3. 人材育成と国際交流への助成	6
4. 情報活動	7
5. 主要事業日誌	8
事業報告の附属明細書	11

## <事業概況と実績>

当財団は科学技術に関する研究開発の助成及び奨励、国際交流の推進のための援助並びに人材の育成を行なうことにより、科学技術全般の一層の発展を図り、もって国民生活の向上及び国際的な相互理解の促進に寄与することを目的としております。  
その達成のために2025年度においては、つぎの事業を実施いたしました。

### 1. エネルギー及び環境に関する独創的で優れた研究に対する助成

①第52回（2025年度）岩谷科学技術研究助成	106件	211,980千円
②第3回（2025年度）岩谷科学技術特別研究助成	16件	159,980千円
③第1回（2023年度）岩谷科学技術特別研究助成	14件	65,650千円 ※助成金残額を一括支給
④第2回（2024年度）岩谷科学技術特別研究助成	16件	159,750千円 ※助成金残額を一括支給

### 2. エネルギー及び環境に関する優れた技術開発で顕著な産業上の実績が認められる業績の表彰

第52回（2025年度）岩谷直治記念賞	1件	5,000千円
---------------------	----	---------

### 3. 自然科学分野における人材育成と国際交流への助成

① 岩谷国際留学生奨学助成	62,358千円
第51回（2025年度）岩谷国際奨学生（新規）	20名
第50回（2024年度）岩谷国際奨学生（継続）	16名
② 岩谷日本人大学院生奨学助成	15,529千円
第2回（2025年度）岩谷日本人大学院奨学生（新規）	5名
第1回（2024年度）岩谷日本人大学院奨学生（継続）	4名

2025年度までの累計で、岩谷科学技術研究助成は1,356件 27億1,379万円、岩谷科学技術特別研究助成は46件 4億5,778万円、岩谷直治記念賞は53件 1億4,000万円、岩谷奨学助成は568名 11億3,759万円に達しました。

## 1. エネルギー及び環境に関する独創的で優れた研究に対する助成

### －① 岩谷科学技術研究助成－

#### 1) 決定

選考委員会推薦の別表1に記載の106件を、2025年11月開催の第2回定例理事会で承認した後、理事長が第52回（2025年度）助成対象に決定した。

助成金総額は211,980千円。

#### 2) 助成対象と応募

##### (1) 助成対象

「エネルギー及び環境」を中心とした関連研究分野における基礎的研究並びに応用開発などの実用的研究

##### (2) 応募期間

6月1日～7月31日（2ヶ月間）

##### (3) 応募件数

233件（前年度239件）

#### 3) 選考経過

##### (1) 第1回選考委員会（9月2日）

本年度の応募総数233件を12名の選考委員で分担し書類選考を行うことを決定した。また、申請案件と特別な利害関係にある選考委員は審査できないことの徹底を図った。応募案件1件について2名の選考委員が専門性を加味し審査を担当するため、1人当りの審査件数は38～39件となった。

##### (2) 書類審査

各選考委員は定められた「審査基準及び審査報告」に基づき書類審査を行い、審査内容を記載した「評価表」を事務局で「審査集計表」にまとめ、選考委員長に提出した。

##### (3) 第2回選考委員会（10月31日）

各選考委員から提出された「評価表」及び「審査集計表」をもとに審議を行った結果、研究助成候補として別表1の106件の推薦を決定した。

#### 4) 第12回研究成果発表会

日時：2025年3月7日 12:30～14:30

場所：東京會館

##### (1) 研究成果発表

第50回（2023年度）助成金受領者72名による研究成果発表（3分間プレゼンテーション）のオンライン配信を行い、研究の成果や途中経過について発表を行った。

(2) 質疑応答

会場での相対によるポスターセッションにおいて、選考委員12名と上記発表者による質疑応答を行った。

5) 第51回(2024年度)岩谷科学技術研究助成金贈呈式

日時: 2025年3月7日 15:30~16:30

場所: 東京會館

(1) 研究助成金贈呈書授与

第51回(2024年度)助成金受領者81名に対して、研究助成金贈呈書の授与を行った。

—② 岩谷科学技術特別研究助成—

1) 決定

選考委員会推薦の別表2に記載の16件を、2025年11月開催の第2回定例理事会で承認した後、理事長が第3回(2025年度)助成対象に決定した。

助成金総額は159,980千円。

2) 助成対象と応募

(1) 助成対象

「エネルギー及び環境」を中心とした関連研究分野における基礎的研究並びに応用開発などの実用的研究

(2) 応募期間

6月1日~7月31日(2ヶ月間)

(3) 応募件数

47件(前年度54件)

3) 選考経過

(1) 第1回選考委員会(9月2日)

本年度の応募総数47件を12名の選考委員で分担し書類選考を行うことを決定した。また、申請案件と特別な利害関係にある選考委員は審査できないことの徹底を図った。応募案件1件について2名の選考委員が専門性を加味し審査を担当するため、1人当りの審査件数は7~8件となった。

(2) 書類審査

各選考委員は定められた「審査基準及び審査報告」に基づき書類審査を行い、審査内容を記載した「評価表」を事務局で「審査集計表」にまとめ、選考委員長に提出した。

(3) 第2回選考委員会(10月31日)

各選考委員から提出された「評価表」及び「審査集計表」をもとに審議を行った結果、研究助成候補として別表2の16件の推薦を決定した。

## 2. エネルギー及び環境に関する優れた技術開発で顕著な産業上の実績が認められる業績の表彰

### —岩谷直治記念賞—

#### 1) 決定

選考委員会推薦の別表3に記載の1件を2025年11月開催の第2回定例理事会で承認した後、理事長が記念賞に決定した。

副賞金額は、1件につき5,000千円、総額5,000千円。

#### 2) 表彰対象と推薦

##### (1) 表彰対象

エネルギー及び環境に関する優れた技術開発で顕著な産業上の実績が認められる業績の表彰

2件以内

##### (2) 推薦期間

6月1日～8月31日（3ヶ月間）

##### (3) 推薦件数

3件

#### 3) 選考経過

##### (1) 第1回選考委員会（9月2日）

推薦案件3件を選考委員全員で審査することとした。

但し、推薦案件と特別な利害関係にある選考委員は審査できないことの徹底を図った。

##### (2) 書類審査

各選考委員は定められた「審査基準及び審査報告」に基づき書類審査を行い、審査内容を記載した「評価表」を事務局で「審査集計表」にまとめ、選考委員長に提出した。

##### (3) 第2回選考委員会（10月31日）

各選考委員から提出された「評価表」及び「審査集計表」をもとに、技術的独創性、産業上の実績等の視点から審議を行った結果、岩谷直治記念賞候補として別表3の1件の推薦を決定した。

### 3. 人材育成と国際交流への助成

#### — 岩谷奨学助成 —

##### 1) 決定

選考委員会推薦の別表4に記載の20名及び別表5に記載の5名を2025年度奨学生として理事長が決定した。

##### ① 岩谷国際留学生奨学助成

第51回(2025年度)岩谷国際奨学生(新規) 20名

第50回(2024年度)岩谷国際奨学生(継続) 16名

##### ② 岩谷日本人大学院生奨学助成

第2回(2025年度)岩谷日本人大学院奨学生(新規) 5名

第1回(2024年度)岩谷日本人大学院奨学生(継続) 4名

奨学金は、岩谷国際留学生奨学助成 62,358千円、  
岩谷日本人大学院生奨学助成 15,529千円の総額 77,887千円。

##### 2) 選考経過

2024年12月1日～20日まで公募をしたところ、  
岩谷国際留学生奨学助成には238名(前年度258名)、岩谷日本人大学院生奨学助成には114名(前年度105名)の応募があった。

2025年1月～2月に実施した書類審査・面接により、岩谷国際奨学生は、別表4記載の20名、岩谷日本人大学院奨学生は、別表5記載の5名を選考し、理事長が2025年度の新規奨学生に決定した。

なお、学位の取得を目指す別表6記載の2024年度岩谷国際奨学生16名、岩谷日本人大学院奨学生4名については、継続して岩谷奨学生とした。

##### 3) 交流活動

(1) 奨学生間及び奨学生と財団の相互理解と親睦を図るため例会を開催した。

##### < 2024年度奨学生 >

第5回例会(3月8日) 於: 日比谷コンファレンススクエア8E会議室

内 容: 一年間の振り返り

参加者: 奨学生22名(留学生17名、日本人5名)

##### < 2025年度奨学生 >

第1回例会(4月18日) 於: 日比谷コンファレンススクエア8E会議室

内 容: オリエンテーション

参加者: 奨学生24名(留学生19名、日本人5名)

第2回例会（7月11日） 於：埼玉県、都内近郊

内 容：工場見学、体験

参加者：奨学生23名（留学生18名、日本人5名）

第3回例会（9月18日～20日） 於：兵庫県、大阪府、京都府

内 容：研修旅行（万博見学、施設見学、体験）

参加者：奨学生23名（留学生19名、日本人4名）

第4回例会（12月4日～5日） 於：群馬県、都内

内 容：研究発表会、個人面談、施設見学、体験

参加者：奨学生24名（留学生19名、日本人5名）

(2) 学位取得後、日本や各地域で活躍している奨学生OB・OGとの交流を図るため、岩谷奨学生「友の会」を開催した。

第2回モンゴル地区支部会（8月23日） 於：ウランバートル

内 容：財団活動状況報告、奨学生OB・OG近況報告

参加者：奨学生OB・OG及び家族等 43名

## 4. 情報活動

### 1) 出版・刊行物

(1) 財団機関誌「needs」を8月1日に刊行し、各地の図書館、他財団、当財団関係者及び奨学生、奨学生OB・OGに送付した。(1,330部)

(2) 「研究報告書」を8月1日に刊行し、研究助成金を受領した先生方の他、各地の図書館、他財団及び当財団関係者に送付した。(850部)

(3) 贈呈式ブックレット

記念賞受賞者及び研究助成金受領者を掲載した冊子を作成し、贈呈式出席者等に配布した。(220部)

### 2) インターネットによる情報開示

岩谷科学技術研究助成、岩谷直治記念賞および岩谷奨学助成の3事業や、当財団に関する情報などを広く一般に公開した。

また、この3事業の専用ページを設け、応募受付や選考審査、書類提出などを行うことによって、業務の効率化を図った。

## 5. 主要事業日誌

年月日	内 容
2025/1/7～24	第51回(2025年度)岩谷国際奨学生候補者、第2回(2025年度)岩谷日本人大学院奨学生候補者書類選考
2/ 3	2024年度(1月1日～12月31日)監事監査
2/ 5, 6, 7	第51回(2025年度)岩谷国際奨学生候補者、第2回(2025年度)岩谷日本人大学院奨学生候補者面接選考
2/18	2025年度第1回定例理事会
	・2024年度(1月1日～12月31日)事業報告書(案)並びに計算書類(案)承認
	・次期理事候補者(2025年3月19日～2027年3月)(案)承認
	・次期監事候補者(2025年3月19日～2029年3月)(案)承認
	・評議員候補者(補欠2名:2025年3月19日～2028年3月)(案)承認
	・第52回(2025年度)岩谷科学技術研究助成募集要項(案)承認
	・第3回(2025年度)岩谷科学技術特別研究助成募集要項(案)承認
	・第52回(2025年度)岩谷直治記念賞募集要項(案)承認
	・2025年度定時評議員会開催(案)承認
	・理事長及び常務理事の職務執行状況報告 他
3/ 5	第51回(2025年度)岩谷国際奨学生(20名)、第2回(2025年度)岩谷日本人大学院奨学生(5名)決定
3/ 7	第12回研究成果発表会
	2024年度岩谷直治記念賞、研究助成金贈呈式
3/ 8	第50回(2024年度)岩谷国際奨学生、第1回(2024年度)岩谷日本人大学院奨学生第5回例会
3/19	2025年度定時評議員会
	・2024年度(1月1日～12月31日)計算書類承認
	・次期理事(2025年3月19日～2027年3月)選任
	・次期監事(2025年3月19日～2029年3月)選任
	・評議員候補者(補欠2名:2025年3月19日～2028年3月)選任
	・評議員会長(2025年3月19日～2028年3月)選定
	・2024年度(1月1日～12月31日)事業報告 他
3/19	内閣府に事業報告等に係る提出書(2024年度)提出
3/27	2025年度第1回臨時理事会(決議の省略)
	・理事長、常務理事の選定及び事務局長の選任

年 月 日	内 容
4/16	麹町税務署に「公益法人等の損益計算書等の提出書」(2024年度)提出
4/18	第51回(2025年度)岩谷国際奨学生、第2回(2025年度)岩谷日本人大学院奨学生 第1回例会
6/ 1	第52回(2025年度)岩谷直治記念賞募集開始
6/ 1	第52回(2025年度)岩谷科学技術研究助成募集開始
	第3回(2025年度)岩谷科学技術特別研究助成募集開始
6/ 4	2025年度第2回臨時理事会 (決議の省略)
	・この法人が保有する株式等の議決権の行使承認
7/11	第51回(2025年度)岩谷国際奨学生、第2回(2025年度)岩谷日本人大学院奨学生 第2回例会
7/31	第52回(2025年度)岩谷科学技術研究助成応募募締切
	第3回(2025年度)岩谷科学技術特別研究助成応募募締切
8/ 1	研究報告書(Vol. 48)発刊 財団機関誌「needs」(Vol. 51)発刊
8/23	岩谷奨学生「友の会」第2回モンゴル地区支部会開催
8/31	第52回(2025年度)岩谷直治記念賞推薦締切
9/ 2	2025年度第1回選考委員会(研究助成・記念賞)
9/16	内閣府公益認定等委員会事務局「点検調査」
9/18~20	第51回(2025年度)岩谷国際奨学生、第2回(2025年度)岩谷日本人大学院奨学生 第3回例会(研修旅行)
10/31	2025年度第2回選考委員会(研究助成・記念賞)
11/18	2025年度第2回定例理事会
	・第52回(2025年度)岩谷科学技術研究助成候補106件承認
	・第3回(2025年度)岩谷科学技術特別研究助成候補16件承認
	・第52回(2025年度)岩谷直治記念賞候補1件承認
	・岩谷科学技術特別研究助成金の支払方法変更(案)承認
	・2026年度(1月1日~12月31日)事業計画書(案)並びに「当該事業年度 開始の日に行う公益目的事業の種類及び内容」(案)承認
	・2026年度(1月1日~12月31日)収支予算書(案)並びに 「資金調達及び設備投資の見込みについて」(案)承認
	・理事長及び常務理事の職務執行状況報告 他
11/28	2025年度岩谷直治記念賞受賞者、研究助成金受領者開示
12/ 1	第52回(2026年度)岩谷国際奨学生募集開始
	第3回(2026年度)岩谷日本人大学院奨学生募集開始

年 月 日	内 容
12/ 4	内閣府に2026年度事業計画書及び収支予算書提出
12/ 4～5	第51回(2025年度)岩谷国際奨学生、第2回(2025年度)岩谷日本人大学院奨学生 第4回例会
12/20	第52回(2026年度)岩谷国際奨学生応募締切
	第3回(2026年度)岩谷日本人大学院奨学生応募締切
	以 上

## 事業報告の附属明細書

2025年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項なし。

第52回（2025年度）岩谷科学技術研究助成金受領者

別表1

番号	所 属	役職・研究者	研 究 テ ー マ	助成金額 (千円)
1	東京農工大学 大学院工学研究院	教授 秋澤 淳	イオン液体を用いて100℃以下の低質熱源から氷温を生成する吸着冷凍サイクルの実証	2,000
2	京都大学 大学院農学研究科	特定研究員 足立 大宜	多段階酵素電極反応に基づくCO2資源化システムの創成	2,000
3	工学院大学 先進工学部	准教授 油井 信弘	気生微細藻類と窒素固定菌との気相共培養による バイオディーゼル生産	2,000
4	東北大学 未来科学技術共同研究センター	准教授 石原 真吾	水素製鉄高炉の流動・反応場制御に向けたトポロジカル構造解析と連成シミュレーション	2,000
5	茨城大学 工学部	助教 井上 大	Fe <sup>2+</sup> /Fe <sup>3+</sup> 液体熱電変換における混合有機溶媒系での出力特性向上の微視的理解	2,000
6	福井大学 学術研究院工学系部門	講師 今林 弘毅	界面顕微光応答法を用いた二次元解析による 2-step mesa 構造 pn 接合ダイオードの電流輸送機構解明	2,000
7	千葉大学 環境リモートセンシング研究センター	教授 入江 仁士	線状降水帯予測精度向上のための受動型可視ハイパースペクトル分光法の有効性の高精度評価	2,000
8	広島大学 環境安全センター	助教 梅原 亮	底質中硫化水素の連続モニタリング手法開発	2,000
9	信州大学 工学部	准教授 遠藤 洋平	振動発電を利用した自給型センサー及び自動AIモニタリングシステム開発	2,000
10	兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所	教授 大河内 拓雄	グリーンな反強磁性デバイスの直接評価技術の確立	2,000
11	九州大学 大学院薬学研究院	講師 大澤 歩	NOxの資源化に対する有機合成的アプローチ	2,000
12	九州大学 大学院総合理工学研究院	教授 大瀧 倫卓	酸化物/窒化物コアシェル型ナノ粒子の焼結によるナノヘテロ構造酸化電極材料の開発	2,000
13	北海道大学 大学院地球環境科学研究院	准教授 大友 亮一	糖類からギ酸を選択的に合成するための酸素キャリアの開発	2,000
14	聖路加国際大学 大学院公衆衛生学研究科	准教授 大西 一成	気象・大気環境データに基づく健康リスク可視化マップの技術開発	2,000
15	近畿大学 薬学部	准教授 緒方 文彦	水質浄化および有価資源回収の両立を指向した吸・脱着処理を基盤とする金属複合水酸化物によるレアメタルの回収能	2,000
16	東京科学大学 理学院	准教授 小野 公輔	F-F相互作用を駆動力とするPFASの吸着を可能とする細孔性材料	2,000
17	岡山理科大学 工学部	教授 折田 明浩	2枚羽プロペラ型π共役骨格に基づく発光性有機材料の設計と合成	2,000
18	九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所	デニユアトラック助教 郭 章林	タンデム太陽電池用無機ハライドペロブスカイトの劣化機構の解明	2,000
19	京都大学 大学院工学研究科	助教 郭 玉婷	Ni固溶によるSOFCアノードの伝導劣化の分子論的解析と時空間予測モデルの開発	2,000
20	名古屋工業大学 大学院工学研究科	教授 籠宮 功	高プロトン伝導性トリプルコンダクターに基づくプロトン伝導セラミック燃料電池用空気極の開発	2,000
21	岐阜大学 工学部	助教 加藤 邦彦	液体金属-電気化学ハイブリット反応場による資源循環型硫化物ナノシート創製	2,000
22	京都大学 大学院理学研究科	助教 門田 健太郎	CO2含有配位高分子の生成-分解サイクルに基づく省エネ型炭素循環系の創出	2,000
23	広島大学 大学院先進理工系科学研究科	教授 金指 正言	工業用酸素製造プロセス強化のためのシリカ系空気分離膜の開発	2,000
24	京都大学 化学研究所	特定准教授 軽部 修太郎	反対称交換相互作用による革新的交替磁性体の創出	2,000
25	北見工業大学 工学部	助教 川合 政人	AM技術を活用した死容積低減による往復動型膨張機の効率向上	2,000
26	京都大学 大学院地球環境学堂	特定助教 川口 康平	In-situ電気分解×ストリッピングによる高濃縮下水汚泥からのメタンとアンモニアの回収技術の開発	2,000
27	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科	准教授 河村 剛	局在表面プラズモン共鳴を利用した光電気化学的水分解による水素製造用光電極の開発	2,000

第52回（2025年度）岩谷科学技術研究助成金受領者

別表1

番号	所 属	役職・研究者	研 究 テ ー マ	助成金額 (千円)
28	山口大学 大学院創成科学研究科	准教授 川本 拓治	光エネルギーを活用した高効率分子変換法の開発	2,000
29	芝浦工業大学 工学部	准教授 木須 一彰	高濃度カルシウム電解液と硫黄複合電極による次世代蓄電池の開発	2,000
30	青山学院大学 理工学部	助教 キム ミンソク	Zn-Te-Oカルコゲナイド酸化物薄膜の合成と光電特性評価、および中間バンド太陽電池への応用	2,000
31	富山高等専門学校 商船学科	准教授 経田 僚昭	エリスリトールの固液共存熱流動センシングによる音響相図の学理	2,000
32	立命館大学 立命館アジア・日本研究機構	専門研究員 グエン ティ トゥオン	抗生物質の除去と温室効果ガス排出量の削減のための人工湿地の高度化：基質と植物の組み合わせの最適化	2,000
33	立命館大学 理工学部	助教 久野 智子	エネルギー利用の高効率化に向けた成形圧力制御による高磁気特性な新規希土類配向磁石の開発	2,000
34	近畿大学 理工学部	准教授 倉持 悠輔	ポルフィリン-Re錯体を基盤としたCO <sub>2</sub> 捕集・変換一体型触媒の創成とその高性能化	2,000
35	長崎大学 薬学部	教授 栗山 正巳	陽極酸化と陰極還元との協働を鍵とする非天然アミノ酸類の高効率グリーン合成法の開発	2,000
36	神戸大学 大学院理学研究科	教授 小手川 恒	室温で動作する巨大な熱電変換を示す反強磁性材料の創製	2,000
37	立命館大学 理工学部	教授 小林 大造	薄膜光触媒による水分解機構と水素/酸素バブル回収機構を一体化したオンチップ型リアクタ	2,000
38	大阪大学 大学院理学研究科	助教 小林 裕一郎	未利用硫黄資源を活用した低環境負荷型高機能ポリマーの室温合成法の開発	2,000
39	東京科学大学 理学院	助教 齊藤 馨	水素エネルギー応用を目指した新規高プロトン伝導体の創製とダイナミクス解析	2,000
40	東北大学 学際科学フロンティア研究所	助教 サド・アアカンクシャ	量子幾何学を利用した2次元磁性体における非線形スピントルク制御と省エネルギー材料機能の開発	2,000
41	山形大学 有機エレクトロニクスイノベーションセンター	教授 佐野 健志	ハイブリッド2段階法及び周辺材料の開発による高品質・高信頼性ペロブスカイト太陽電池の実現	2,000
42	岐阜薬科大学 薬学部	講師 繁田 堯	歪み構造を有する新規アミノボランの合成と、レアメタルフリー水素発生法の開発	2,000
43	東京海洋大学 学術研究院	助教 柴田 恭幸	デバイス設計に基づく熱-電気エネルギーハーベストデバイスの高性能化	2,000
44	東京農工大学 大学院工学研究院	助教 清水 俊樹	汚染水浄化を目指した層状複水酸化物の液中透過電子顕微鏡による有害陰イオン吸着機構の解明	2,000
45	東北大学 大学院工学研究科	准教授 清水 信	光レクテナによる未利用廃熱の電力利用	1,980
46	立命館大学 立命館グローバル・イノベーション研究機構	准教授 下田 景士	コンバージョン反応を利用したバルク型全固体フッ化物イオン電池の開発と界面反応解析	2,000
47	東北大学 大学院工学研究科	助教 双 逸	マイクロ熱電発電素子応用を目指した低温成膜型CrN系熱電薄膜の創製	2,000
48	筑波大学 数理物質系	特任助教 鄭 サムエル	官能基修飾グラフェン原子層バイポーラ膜の創製と電気化学的CO <sub>2</sub> 還元反応セルの高性能化	2,000
49	北海道大学 大学院工学研究院	助教 鄭 成佑	ルイス型非結合電子対を活用したレドックス型メタルフリーCO <sub>2</sub> 還元触媒の創製	2,000
50	東京大学 大学院新領域創成科学研究科	教授 杉本 宜昭	表面修飾ダイヤモンドの原子スケール解析	2,000
51	大阪大学 大学院基礎工学研究科	准教授 鈴木 修一	相互作用ゆらぎを活かす省エネルギー多機能開設分子材料の開発	2,000
52	静岡大学 理学部	准教授 関 朋宏	刺激応答性分子結晶材料の開発	2,000
53	群馬大学 大学院理工学府	准教授 高橋 剛	環境汚染物質のワンポット検出法の開発	2,000
54	東北大学 大学院環境科学研究科	教授 高橋 英志	廃LiB中のNiとCoをpH調整と濾過で簡単簡便に高度分離回収可能な新規技術の開発	2,000

## 第52回(2025年度)岩谷科学技術研究助成金受領者

別表1

番号	所 属	役職・研究者	研 究 テ ー マ	助成金額 (千円)
55	日本大学 工学部	教授 高橋 竜太	固体-液体界面を介したハライドペロブスカイト太陽電池の作製	2,000
56	追手門学院大学 理工学部	教授 高見 剛	2次元ファンデルワールス化合物への化学フッ化によるフッ化物固体電解質の創製	2,000
57	秋田大学 大学院理工学研究科	講師 高牟礼 光太郎	豪雪環境に対応したAI制御型小水力発電システムの構築	2,000
58	岡山大学 学術研究院	助教 田中 健太	長波長側の可視光を活用できる有機光触媒の創製	2,000
59	京都大学 大学院工学研究科	准教授 田中 隆行	高伝導性有機構造体の精密合成と光エネルギー変換	2,000
60	九州大学 大学院工学研究院	助教 田中 直樹	異種電極を利用した横型イオン性熱発電素子の開発	2,000
61	東北大学 学際科学フロンティア研究所	助教 田原 淳士	次世代バイオマスの非古典的な立体化学の構築が導く石油代替樹脂の機能開拓と資源循環型社会の実現	2,000
62	京都大学 大学院エネルギー科学研究科	助教 土屋 望	製鉄所に由来する酸化鉄ナノ粒子の長期的な粒径分布調査および排出プロセス解明	2,000
63	福井大学 大学院工学研究科	准教授 寺崎 寛章	シート被覆型屋外雪貯蔵における雪氷熱のカスケード利用技術の開発	2,000
64	三重大学 大学院工学研究科	准教授 永井 滋一	低温における電界誘起化学反応プロセスのin-situ質量イメージングによる解明	2,000
65	東京科学大学 工学院	准教授 長澤 剛	高効率エネルギー変換・環境浄化を実現する高機能触媒ナノ粒子の火炎合成法の構築	2,000
66	琉球大学 工学部	准教授 永島 浩樹	ヘリウムガスによる液体水素冷却の気液界面物質移動モデルの構築	2,000
67	鳥取大学 工学部	教授 永野 真吾	高エネルギー密度を持つバイオ燃料候補「ラグララン脂質」の梯子状疎水基の構築メカニズムの解明	2,000
68	大阪大学 大学院工学研究科	助教 中村 彰太郎	静電相互作用を駆動力とする新規積層有機フレームワークの創出と二酸化炭素光還元反応への応用	2,000
69	東北大学 学際科学フロンティア研究所	助教 中安 祐太	水熱変換によるスギチップ由来グラフェン様炭素材料の連続生成	2,000
70	岐阜薬科大学 薬学部	講師 中山 辰史	電気化学一量子PCET反応による持続可能なH <sub>2</sub> O <sub>2</sub> 製造技術	2,000
71	大阪公立大学 大学院理学研究科	講師 西川 慶祐	合成的アプローチを基盤とした寄生巻貝の着生分子制御と船舶エネルギー効率化	2,000
72	東京大学 大学院工学系研究科	助教 林 勇佑	マルチスケールデジタルツインを用いた再生医療製品向け新規凍結保護剤開発基盤	2,000
73	北海道大学 大学院理学研究院	准教授 原田 潤	温室効果ガス削減に貢献する分子性固体冷却材料の開発	2,000
74	愛媛大学 大学院理工学研究科	教授 日向 博文	海岸におけるポイ捨て行動決定要因に関する日本・インドネシアの比較分析と抑制策の提言	2,000
75	九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所	准教授 兵頭 潤次	高速プロトン伝導性薄膜を実現する局所フォノンデザインの獲得	2,000
76	広島大学 大学院先進理工系科学研究科	准教授 平尾 岳大	持続性社会の構築を加速する機能性材料の開発	2,000
77	大阪工業大学 工学部	准教授 平原 将也	分子内水素結合を鍵としたアンモニアからヒドラジンへの電気化学的変換	2,000
78	名古屋工業大学 大学院工学研究科	准教授 廣田 雄一朗	グリーン水素精製のための超疎水性分子ふるい炭素膜の開発	2,000
79	千葉大学 先進科学センター	特任教授 深川 弘彦	高効率ハイブリッド太陽電池創製に向けた有機・ペロブスカイト界面の電子構造制御	2,000
80	大阪工業大学 工学部	教授 藤井 彰彦	有機無機ハライドペロブスカイトの単結晶薄膜プリンティング技術の確立と太陽電池応用	2,000
81	都城工業高等専門学校 物質工学科	准教授 藤森 崇夫	キトサン・シチジンを用いたホウ酸吸着材の調製および形態制御	2,000

## 第52回(2025年度)岩谷科学技術研究助成金受領者

別表1

番号	所 属	役職・研究者	研 究 テ ー マ	助成金額 (千円)
82	鈴鹿工業高等専門学校 生物応用化学科	教授 船越 邦夫	光触媒に付着させた無機リン酸カルシウム粒子の保持電荷量の定量化	2,000
83	神戸大学 大学院農学研究科	教授 本田 和久	温室効果ガス排出削減と効率的な高品質鶏肉生産の両立を実現する低窒素飼料の開発	2,000
84	金沢大学 理工研究域	教授 前多 肇	添加物および外部刺激に応答する強発光性蛍光センサーの開発	2,000
85	名古屋工業大学 大学院工学研究科	教授 前田 浩孝	湿度応答型アンモニア回収材料の開発：畜産排出ガスからの土壌資材化と資源循環の両立	2,000
86	山形大学 大学院理工学研究科	教授 幕田 寿典	環境負荷低減に資する中低温排熱回収用蓄熱マイクロカプセルおよびスラリーの開発	2,000
87	新潟大学 理学部	教授 俣野 善博	非対称型ベンゾ縮環アザポルフィリンの特徴を活かした有機半導体の開発	2,000
88	早稲田大学 先進理工学部	講師 松野 敬成	酸化物系熱電変換材料の性能向上に向けたナノ多孔体の精密合成	2,000
89	福井大学 学術研究院	講師 松本 篤	高分子イオン液体を利用した高効率・高耐久ペロブスカイト太陽電池の開発	2,000
90	九州大学 大学院工学研究院	准教授 松本 崇弘	極めて簡便なアルコールからの脱水素反応の開発	2,000
91	大阪公立大学 大学院工学研究科	准教授 松本 拓也	PETで育つ大腸菌触媒の開発	2,000
92	九州大学 大学院工学研究院	助教 松本 光	高分子粒子充填層内での多重反射による光閉じ込めを利用した光触媒の活性増強とファインケミカル合成への応用	2,000
93	兵庫県立大学 大学院工学研究科	准教授 三浦 永理	洋上風力タービン用高耐食性陽極酸化Ti合金ファスナーの開発	2,000
94	岡山大学 学術研究院	准教授 光藤 耕一	電気エネルギーによる触媒活性化を鍵とする低環境負荷プロセスによる有機半導体分子の合成	2,000
95	京都大学 大学院エネルギー科学研究科	准教授 南 英治	マイクロ波プラズマによる木質バイオマスのクリーンガス化	2,000
96	大阪大学 大学院基礎工学研究科	助教 三宅 浩史	金属フリー系触媒が切り拓くCO <sub>2</sub> 電解によるエチレン製造	2,000
97	北海道大学 低温科学研究所	助教 宮崎 雄三	海氷融解に伴って海洋から大気放出する有機エアロゾルの生成量と化学組成・光学特性への影響の解明	2,000
98	愛知工科大学 工学部	教授 藪下 彰啓	極域における氷表面での非生物反応による有機臭素化合物の生成	2,000
99	東洋大学 理工学部	教授 山口 明啓	マイクロ化学システムを用いたCO <sub>2</sub> RR反応及びフッ素化合物合成に関する研究	2,000
100	神戸大学 大学院海事科学研究科	教授 山地 一代	海運セクターにおけるエネルギー転換が沿岸環境にもたらす恩恵と課題の包括的評価	2,000
101	京都大学 化学研究所	教授 山田 容子	シングレットフィッシュョンを利用した近赤外有機太陽電池材料の開発	2,000
102	東京学芸大学 教育学部	准教授 山田 道夫	開口フラレーン配位子を基盤とした新規発光材料の創出	2,000
103	立命館大学 理工学部	教授 山根 大輔	環境振動エネルギーハーベスタの高出力化・汎用化に向けた自己組織化エレクトレットとシリコンMEMSの集積化技術に関する研究	2,000
104	名古屋大学 大学院工学研究科	准教授 山本 徹也	アイスリアクターによるナノ粒子の合成	2,000
105	北海道大学 大学院工学研究院	助教 百合野 大雅	シアン系廃液からの選択的シアニド回収技術の確立	2,000
106	広島大学 大学院先進理工系科学研究科	教授 吉田 拓人	環境保全を志向したスズリサイクル型合成化学の開発	2,000
		(50音順)	合 計	211,980

## 第3回（2025年度）岩谷科学技術特別研究助成金受領者

別表2

番号	所 属	役職・研究者	研 究 テ ー マ	助成金額 (千円)
1	九州大学 大学院工学研究院	教授 安達 千波矢	有機電荷移動錯体を発電層に用いた新規熱電デバイスの開発	10,000
2	東京都立大学 大学院都市環境科学研究科	教授 天野 史章	過酸化水素を製造するための電解システムの開発	10,000
3	東京海洋大学 学術研究院	教授 荒川 久幸	マイクロプラスチックの微細化の過程と挙動の解明	9,980
4	京都大学 生存圏研究所	教授 今井 友也	PETの酵素ケミカルリサイクルへ向けた要素酵素技術開発	10,000
5	広島大学 大学院先進理工系科学研究科	助教 グェン ワン ティン	沿岸ブルーカーボン生態系堆積物中のプラスチック分解微生物の探索と活用	10,000
6	九州大学 大学院工学研究院	教授 嶋越 恒	廃プラスチックを炭素資源として再活用するバイオインスパイアード資源循環システムの開発	10,000
7	北海道大学 触媒科学研究所	教授 高草木 達	プラズマと触媒の協奏作用を利用した二酸化炭素の高速資源化反応の機構解明	10,000
8	関西大学 環境都市工学部	教授 田中 俊輔	水蒸気共存排ガスに対応可能な省エネ・コンパクトCO2分離システムの開発	10,000
9	早稲田大学 大学院情報生産システム研究科	教授 丹沢 徹	10mV発電素子からバッテリー充電可能なIoTエッジセンサ端末用RoI電源回路の開発	10,000
10	鳥取大学 工学部	准教授 辻 悦司	常温での中湿度空気からのグリーン水素生成技術の開拓	10,000
11	東京科学大学 工学院	助教 西村 昂人	高度資源循環に資するソーラーパネルのマイクロ波加熱技術の開発	10,000
12	神戸大学 内海環境教育研究センター	准教授 林 美鶴	内湾のレジリエンスを高める自然環境モニタリングプラットフォームの構築	10,000
13	横浜国立大学 大学院工学研究院	准教授 藤野 智子	溶液プロセス単結晶薄膜による新奇量子機能開拓と次世代省エネルギーデバイス創出	10,000
14	東京科学大学 総合研究院	准教授 安井 伸太郎	水系準固体電解質を用いた高安全3V級電池の創成	10,000
15	東京科学大学 物質理工学院	准教授 山口 晃	水熱電気化学による焦電体電極上でのCO2/N2同時変換	10,000
16	九州大学 大学院工学研究院	准教授 山本 剛	CO2マイクロ波プラズマを基軸とした高濃度CO製造法の開発	10,000
		(50音順)	合 計	159,980

## 第52回（2025年度）岩谷直治記念賞 受賞者一覧

No	受賞者		推薦者	開発業績
	所属	代表者		
1	国立研究開発法人 物質・材料研究機構 電子・光機能材料研究センター 光学材料分野 次世代蛍光体グループ フェロー	廣崎 尚登	国立研究開発法人 物質・材料研究機構 理事長 宝野 和博	新しい蛍光体の発明と白色LED照明の普及による電力消費量削減

## 第51回(2025年度)岩谷国際奨学生

## 別表4

	氏名		国・地域	大学・専攻	課程
1	アウザル タシマイマイテイ AWUZHAER TAXIMAIMAITI	男 26才	中国	東京農工大学 農学	M2
2	戴 鋒 DAI FENG	男 25才	中国	京都大学 農学	D1
3	李 相旭 RHEE SANGUK	男 25才	韓国	横浜国立大学 化学・生命系理工学	M1
4	金 旻柱 KIM MINJU	女 22才	韓国	信州大学 繊維学	M1
5	簡 晨祐 CHIEN CHEN YU	男 24才	台湾	東京大学 人間環境学	M1
6	詹 雅涵 CHAN YA-HAN	女 24才	台湾	東京科学大学 材料	M2
7	バトバヤル アルタンナヴチ BATBAYAR ALTANNAVCH	女 24才	モンゴル	東京科学大学 ライフエンジニアリング	M1
8	バートルガ エルベグザヤ BATTULGA ELBEGZAYA	男 25才	モンゴル	東京大学 社会基盤学	M1
9	チリア ソピア CHREA SOPHEA	男 24才	カンボジア	東京科学大学 応用化学	M1
10	オウ ピセイ OU PISEY	女 24才	カンボジア	東京科学大学 建築学	M1
11	プспаデウィ アディセプトラ PUSPADEWI ADISEPUTRA	女 24才	インドネシア	岡山大学 環境生命自然科学	M1
12	ディーバ アルタフ プラタマ DHIVA ALTHAF PRATAMA	男 23才	インドネシア	九州大学 地球社会統合科学	M1
13	ラム ホヤン LAM HOR YAN	女 24才	マレーシア	東京大学 メディカル情報生命	M1
14	トリク ビン ロスラン TARIQ BIN ROSLAN	男 25才	マレーシア	東京農工大学 農学	M1
15	パン テー チュー PANN THAE CHU	女 24才	ミャンマー	徳島大学 地域創成	M1
16	パイ パイ シュエ シン PYAE PYAE SHWE SIN	女 30才	ミャンマー	宮崎大学 物質・情報工学	D1
17	ジュイジョンラック スナンター JUIJONGRAK SUNANTA	女 22才	タイ	福島大学 共生システム理工学	M1
18	ウッタモート チュティカーン UTTAMOTH JUTIKAN	女 25才	タイ	京都大学 農学	D1
19	レー マン トア LE MANH THOA	男 23才	ベトナム	長岡技術科学大学 工学	M1
20	タン バオ ミン THUONG BAO MINH	男 28才	ベトナム	北海道大学 機械宇宙工学	M2

## 第2回（2025年度）岩谷日本人大学院奨学生

別表5

	氏名		課程	大学・専攻	課程
1	内園 翔太 SHOTA UCHIZONO	男 22才	日本	東北大学 先端環境創成学	M1
2	後藤 優佳 YUKA GOTO	女 23才	日本	京都大学 生物科学	M1
3	田村 聖花 SAYAKA TAMURA	女 22才	日本	東京海洋大学 海洋資源環境学	M1
4	福王 悠星 YUSEI FUKUO	男 23才	日本	総合研究大学院大学 先端学術	M2
5	山本 風路 FURO YAMAMOTO	男 24才	日本	東京大学 広域科学	M1

## 第50回(2024年度)岩谷国際奨学生 継続者

別表6

	氏名	国・地域	大学・専攻	課程
1	郭 芳欣 GUO FANGXIN	女 25才 中国	東京農工大学 農学	D1
2	伊力亜 艾山 YILIYA AISHAN	男 27才 中国	大阪公立大学 物質化学生命系	D2
3	陳 彦君 CHEN YENCHUN	男 23才 台湾	京都大学 農学	M2
4	ガンフヤグ テンギスbold TENGISBOLD GANKHUYAG	男 24才 モンゴル	東京大学 化学システム工学	M2
5	bold ナイラムダフ BOLD NAIRAMDACH	男 25才 モンゴル	東京大学 原子力国際	M2
6	ゴブ ユーセイン NGOV YUSENG	男 28才 カンボジア	千葉大学 創成工学	D2
7	ジン オンポー CHIN OMPOR	女 25才 カンボジア	福井大学 安全社会基盤工学	M2
8	レクシ アルヴィアン ネルチャン REXY ALVIAN NERCHAN	男 25才 インドネシア	豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学	M2
9	ナディア アミン NAHDIAH AMIN	女 27才 インドネシア	岐阜大学 生命科学・化学	M2
10	ラオルー チュソン LAOLUE CHERXIONG	男 27才 ラオス	長岡技術科学大学 工学	M2
11	タン シャオイン TAN SHAOYING	女 28才 マレーシア	大阪大学 生物工学	D3
12	ムハammad カイルラー ビン アドラン MUHAMMAD KHAIRULLAH BIN ADLAN	男 25才 マレーシア	福井大学 安全社会基盤工学	M2
13	アデリン アン リー シェエン ADELINE ANG LI XUAN	女 23才 マレーシア	東京農業大学 食品安全健康学	M2
14	ウィン レ シュエ イー WIN LEI SHWE YEE	女 23才 ミャンマー	京都大学 森林科学	M2
15	ス ウエイ ニン SU WAY HNIN	女 26才 ミャンマー	長岡技術科学大学 工学 情報・経営システム	M2
16	グエン・ヴァン・クアン NGUYEN VAN QUANG	男 24才 ベトナム	長岡技術科学大学 工学	M2

## 第1回(2024年度)岩谷日本人大学院奨学生 継続者

	氏名	国	大学・専攻	課程
1	儀満 政寿 SEIJYU GIMA	男 23才 日本	長崎県立大学 情報工学	M2
2	新屋 和花 NODOKA SHINYA	女 29才 日本	京都大学 応用生命科学	D3
3	藤波 楓夏 FUKA FUJINAMI	女 23才 日本	名古屋大学 地球環境科学	M2
4	渡辺 健仁 TAKEHITO WATANABE	男 24才 日本	京都大学 エネルギー社会・環境科学	M2